



GCS-5

リファレンス・マニュアル



Bluetooth[®]

	_
準備する3	
トップ・パネル /フロント・パネル 3	2
	,
リア・ハネル	
電源を入れる/切る5	j
日付と時刻を設定する5	
画面(タッチ・パネル)の操作6	•
チャンネル設定8	
チャンネル1 2 8	
	,
INPUT)
EQ8)
EFFECTS9)
GENERAL	
INSTRUMENT チャンネル10)
EQ10)
EFFECTS10)
GENERAL	
USB チャンネル12	2
INIPLIT)
EO 1 2	,
EFFECIS	
GENERAL	5
BLUETOOTH [®] チャンネル	
INPUT	ŀ
FQ 15	5
FFFECTS 15	
	,
SOUND PAD チャンネル)
EFFECTS16)
GENERAL	
エフェクトのエディット17	,
エフェクトの接続順を変更する17	,
エフェクト・パッチを保存する (パッチ・ライト) 18	2
	, ,
)
チューナーを使う19)
	_
サウンド・パッドの設定をエディットする20)
 Tフェクト・パッドを使う 21	
エノエノビ ハンビでは ノ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21	
エノエント設定を選ぶ	
エフェクト・パッドの設定をエディットする	
 フットスイッチ/エクスプレッション・ペダルを使う23	_
フット・コントローラーを指定する 24	L
ノットヘイッテ/エンヘノレッショノ・ハッルの設正	
ハッド・リンクの設定25)
GA-FC の設定)

出力の設定27
MAIN OUT
USB
USB MAIN
USB MONITOR
USB AUX IN
トークバックの設定 (TALKBACK)29
EFFECTS
GENERAL
MENU 画面の操作 31
CHANNEL / OUTPUT / PAD / FOOT SW $\dots\dots.31$
SETUP
GCS-5 のデータをバックアップする32
工場出荷時の設定に戻す(ファクトリー・リセット)33
エラー・メッセージ一覧 34
主な仕様

準備する

トップ・パネル/フロント・パネル



1

[し] ボタン

電源をオン/オフします。 ボタンを長押しすると、電源がオフになります。

2

[SOUND] ボタン

ディスプレイに、サウンド・パッド 1 ~ 8 が表示されます。

[EFFECTS] ボタン

ディスプレイに、エフェクト・パッド1~8が表示されます。

サウンド、パッド	各パッドに割り当てられている音声を再生します。
サウンド・バッド	** サウンド・バッドの機能は、専用アプリ (Windows/Mac 対応)を使用したとき に利用することができます。
エフェクト・パッド	各パッドに割り当てられているエフェクトの設 定が使えます。

3

ディスプレイ(タッチ・パネル)

画面にタッチして各種設定をします。操作に応じていろいろな情報 が表示されます。

4

1, 12 (ヘッドホン 1、2) つまみ

ヘッドホン 1、2 の音量を調節します。

5 CHANNEL

[図] ~ [▶] (チャンネル・エディット) ボタン オン (点灯) にすると、選んだチャンネルの設定画面に切り替わり ます。

チャンネル・フェーダー

各入力チャンネルの音量を調節します。

[🜌](ミュート)ボタン

各入力チャンネルのミュートをオン(点灯)/オフ(消灯)します。

[🕋](モニター)ボタン

オン(点灯)にしたチャンネルの音は、ヘッドホン端子に出力されま す。ヘッドホンで音を聴くことができます。

6 OUTPUT

[🖸](OUTPUT エディット)ボタン

オン(点灯)にすると、出力(メイン・アウトやヘッドホンなど)の 設定画面に切り替わります。

OUTPUT フェーダー

出力(MAIN OUT や USB MAIN 出力)音量を調節します。

[🜠](ミュート)ボタン

出力(MAIN OUT や USB MAIN 出力)のミュートをオン(点灯) /オフ(消灯)します。

7

🖌 (ギター)端子

ギターを接続します。

ギターの音声は、チャンネル1に入力されます。

リア・パネル

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



8

DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のように底面の溝を使って固定してく ださい。



※本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

9

⊷ (USB) 端子

パソコンなどを接続して USB オーディオ・インターフェースとして 使用したり、機器設定のバックアップ (P.32) をしたりします。

- → USB の出力設定については P.28 を、USB オーディオの設定については P.31 をご覧ください。
- ※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信が できません。

XE

USB 端子で電源を受けることができます。

給電時には、市販の USB AC アダプター(5V … / 3A 以上)が 必要です。

(ヘッドホン1) 端子

ヘッドセットやヘッドホンを接続します。 ヘッドホン 1 端子のみ、ヘッ ドセット対応です。

注意

(10)

ヘッドセットは、CTIA 対応の 3.5mm ミニ・プラグ(4 極)のもの をお使いください。

※ミニ・プラグ(4極)のピン配置



(ヘッドホン 2) 端子

ヘッドホンを接続します。

11

● (マイク) 1、2 端子

マイクを接続します。

※ ファンタム電源について

マイク1~2端子(XLR)からは、ファンタム電源(+48V)を供給することができます。ファンタム電源の必要なコンデンサー・マイクを使うときは、ファンタム電源をオンにしてください。 チャンネル1~2の設定画面で、+48Vを「ON」にします。

※ **↓**1~2端子 (XLR)のピン配置



📼(インスト)L、R 端子

キーボード、オーディオ機器を接続します。

12

��》(メイン・アウト)L、R 端子

アンプやモニター・スピーカー、ミキサーに接続します。

13

FOOT SW 端子

別売のフットスイッチ(FS-5U / FS-6 / FS-7)やエクスプレッション・ ペダル(FV-500H / FV-500L / EV-30 / Roland EV-5)、フット・ コントローラー (GA-FC) を接続して、さまざまな機能をコントロー ルすることができます。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。 他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

14

接地端子

外部アースまたは大地に接地します。 必要に応じて接続してください。

電源を入れる/切る

電源を入れる/切るときは、音量を絞ってください。 音量を絞っても電源を入れる/切るときに音がすることがありますが、 故障ではありません。

.

電源を入れる

1. 本機の [0] ボタンを押します。



電源がオンになり、ディスプレイにホーム画面が表示されます。

2. 接続した機器 → アンプの順で、電源を入れます。

電源を切る

- 1. アンプ → 接続した機器の順で、電源を切ります。
- 2. 本機の [0] ボタンを長押し(2秒)します。 確認のメッセージが表示されます。
- 3. < YES >にタッチします。

日付と時刻を設定する

ご購入後に初めて電源を入れたときは、ディスプレイに日付と時刻の設 定画面が表示されます。

	DA	TE & T	IME	
			APF	PLY
+	•	+	+	•
YEAR	MONTH	DAY	HOUR	MIN
2023	/ 01	/ 05	01 :	02

- YEAR / MONTH / DAY の<-><+>にタッチして、日付を設定します。
- HOUR / MIN の<-><+>にタッチして、時刻を 設定します。
- **3. 設定が終わったら、< APPLY > にタッチします**。 設定した日付と時刻が反映され、ホーム画面が表示されます。

XE

日付と時刻は、メニュー画面から< SETUP > → < GENERAL > → 「DATE & TIME」を選んで設定し直すことができます。

画面(タッチ・パネル)の操作

ホーム画面

起動後に表示される画面を「ホーム画面」と呼びます。ホーム画面では、入出力レベルの状態を確認することができます。

また、画面に表示されるボタンにタッチして、入出力チャンネルや各機能の設定画面に切り替えることができます。



各チャンネルと OUTPUT のアイコンにタッチするとウインドウが開き、エフェクト・パッチを切り替えたりエディット画面を表示させたりすることができます。



■ チャンネル 1 ~ 2、INSTRUMENT チャンネル



- 左または右にスワイプすると、[SOUND] ボタン点灯時はサウンド・パッド、[EFFECTS] ボタン点灯時はエフェクト・パッドが表示されます。
- ※ サウンド・パッドは、専用アプリを接続しているときに表示されます。



MENU 画面

MENU 画面では、いろいろな設定が「メニュー」として表示されます。目的の設定画面が表示されるまで、メニュー項目にタッチして画面を切り替えます。



メニュー	説明	>
CHANNEL	各入力チャンネルの設定をします。	
OUTPUT	MAIN OUT 端子やヘッドホン端子からの出力音の調整など、出力に関する	F
	設止をします。	S
PAD	エフェクト・パッドの設定をします。	

_		
	メニュー	説明
-	FOOT SW	FOOT SW 端子に接続したフットス イッチまたはエクスプレッション・ペダ ルの機能を設定します。
-	SETUP	GCS-5のシステム全体に関する設定を します。

•

各画面での主な操作



チャンネル1、2

1. トップ・パネルの [図] または [2] ボタンを押します。

ボタンを押したチャンネルの設定画面が表示されます。



入力ゲインの設定

3. GAIN で、入力ゲインを調節します。



CHANNEL1

INPUT

ファンタム電源のオン/オフ

GAIN

+48V

4. ファンタム電源の必要なコンデンサー・マイクを使う ときは、+48Vを「ON」にします。

OdB

INPUT

入力ソースの選択

- **1.** < INPUT >にタッチします。
- INPUT の<GTR>~<OFF>にタッチして、入力ソースを選びます。

CHANNEL1

入力ソース	説明
1	ギター端子に接続したギター
GTR	※ チャンネル 1 のみ
	チャンネル 1、2 端子に接続したマイクやキー ボード、オーディオ機器
	チャンネル 1 と 2 をステレオ・リンクで使う ときに選びます。
00 ₁₈₂	ステレオ・リンクをオンにすると、2 つのチャ ンネルをまとめて同じ設定にします。
	※ ステレオ・リンクをオンにした場合、一方 のチャンネルは自動的にオフになります。
	ヘッドセットのマイク
HEAD	※「HEADSET」は、1 つのチャンネルだけ に設定することができます。
z ^z off	オフ(使わない)

EQ

Ŷ

FFECT

- **1.** < EQ >にタッチします。
- 2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。



3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

EFFECTS

- **1.** < EFFECTS > にタッチします。
- 2. EFFECTS ボタンを「ON」(緑点灯)します。



カテゴリーの選択

3. EFFECTS CATEGORY ボタンにタッチしてから、エ フェクトのカテゴリーを選びます。



カテゴリー	説明	
GUITAR	ギター用のエフェクト・パッチが選べます。	
	※ チャンネル 1 のみ	
SING	ボーカル用のエフェクト・パッチが選べます。	
TALK	会話用のエフェクト・パッチが選べます。	
CONSOLE	チャンネル 1 ~ INSTRUMENT チャンネルに共通 のエフェクトです。パラメーターはチャンネルごと に設定できます。	
	※ エディットした設定は、そのまま保存されます。	

エフェクト・パッチの選択

4. PATCH で、使用するエフェクト・パッチを選びます。

	CHA	NNEL1	()	1
*	PRESET	USER		ł
₩PU [o				ł
[€C	P002 MI	OP LEAD		l
	P003 FU	ZZ LEAD		l
EFFE	P004 RE	CT 57 SL & TW		ł
GENE	P005 GI	JITAR PAD		

パッチ	説明
PRESET	上書き保存はできません。 ただし、プリセット・パッチをエディットし、ユーザー・ パッチとして保存することはできます。
USER	上書き保存ができます。

5. エフェクトのパラメーターを調節します。



※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

GENERAL

1. < GENERAL >にタッチします。

2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
USB AUX IN	各チャンネルの補助入力(AUX IN)として、USB オーディオ信号を入力する (ON) かしない (OFF) かを設定します。
INSERT	USB オーディオ信号を入力する位置を設定します。
LEVEL	USB オーディオ信号の入力レベルを設定します。
REVERB SEND	各チャンネルからリバーブに送る信号のレベルを 設定します。
DYNAMICS REMAIN	注意 エフェクトのカテゴリーが「GUITAR」以外のとき に有効な機能です。 「ON」にすると、EFFECTS ボタンを OFF にした ときでも、ENHANCE / COMP / NS は ON の状態が維持されます。
	DYNAMICS REMAIN が有効な場合
	EFFECTS ボタンが OFF のときは 「青点灯」になります。

INSTRUMENT チャンネル

mm(インスト)L、R 端子に接続したキーボードやオーディオ機器からの信号を扱うチャンネルです。

1. トップ・パネルの [□] ボタンを押します。



EQ

- **1.** < EQ >にタッチします。
- 2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。



3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

INPUT

入力ソースの選択

- **1.** < INPUT >にタッチします。
- INPUTの<INST>~<OFF>にタッチして、入力ソースを選びます。

INSTRUMENT

入力ソース	説明
III) _{INST}	INST L、R 端子に接続したキーボードやオーディオ 機器
	ヘッドセットのマイク ※「HEADSET」は、1 つのチャンネルだけに設定 することができます。
z ^Z off	オフ (使わない)

入力ゲインの設定

3. GAIN で、入力ゲインを調節します。



EFFECTS

- 1. < EFFECTS >にタッチします。
- 2. EFFECTS ボタンを「ON」(緑点灯)します。



カテゴリーの選択

3. EFFECTS CATEGORY ボタンにタッチしてから、エ フェクトのカテゴリーを選びます。

		UMENT 😃	
	PATCH EFFECTS	BRIGHT ENHANCE	
	Ę,	lọl	
LIIILIL EFFECTS	TALK	CONSOLE	
GENERAL			

カテゴリー	説明	
TALK	会話用のエフェクト・パッチが選べます。	
CONSOLE	チャンネル 1 ~ INSTRUMENT チャンネルに共通 のエフェクトです。パラメーターはチャンネルごと に設定できます。	
	※ エディットした設定は、そのまま保存されます。	



4. PATCH で、使用するエフェクト・パッチを選びます。



パッチ	説明
PRESET	上書き保存はできません。 ただし、プリセット・パッチをエディットし、ユーザー・ パッチとして保存することはできます。
USER	上書き保存ができます。

5. エフェクトのパラメーターを調節します。



※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

GENERAL

- **1.** < GENERAL >にタッチします。
- 2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明		
USB AUX IN INSTRUMENT チャンネルの補助入力(AUX として、USB オーディオ信号を入力する(OP かしない(OFF)かを設定します。			
INSERT USB オーディオ信号を入力する位置を設定します。			
LEVEL	. USB オーディオ信号の入力レベルを設定します。		
REVERB SEND	INSTRUMENT チャンネルからリバーブに送る信 号のレベルを設定します。		
DYNAMICS	「ON」にすると、EFFECTS ボタンを OFF にした ときでも、ENHANCE / COMP / NS は ON の状態が維持されます。		
REMAIN	DYNAMICS REMAIN が有効な場合		
	EFFECTS ボタンが OFF のときは 「青点灯」になります。		

チャンネル設定

USB チャンネル

← (USB) 端子に接続した機器 (パソコンなど) からの USB オーディオ信号を扱うチャンネルです。

※ AUDIO MODE (P.31) がマルチトラック (MTK-RECORD、MTK-STREAM)の状態で使うときは、パソコンの USB オーディオの設定で [CH USB] を選んでください。

1. トップ・パネルの [] ボタンを押します。



INPUT

- **1.** < INPUT > にタッチします。
- 2. GAIN で、入力ゲインを調節します。



EQ

- 1. < EQ >にタッチします。
- 2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。



3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

EFFECTS

USB チャンネル専用のエフェクトを使うことができます。

1. < EFFECTS >にタッチします。

エフェクトのエディット画面が表示されます。

2. EFFECTS ボタンを「ON」(緑点灯)します。



3. パラメーターを設定します。

- エディット操作については、「エフェクトのエディット」(P.17)をご覧ください。
- パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。



GENERAL

1. < GENERAL >にタッチします。

2. パラメーターを設定します。



ダッキング(DUCK)

演奏や会話の音声(チャンネル1~INSTRUMENT チャンネル)が 鳴るときに、他の音を絞って演奏や会話の音声を目立たせる機能で す。

ナレーターの話やチャットの間、音楽 (BGM) の音量を自動的に下 げることができます。

パラメーター	説明
DUCK	ダッキングの機能をオン/オフします。
DUCK DEPTH	DUCK がかかったときの減衰量を設定します。
DUCK DECAY	DUCK がかかってから元の音量に戻るまでの長さを設定します。

ハウリングの抑制(MIX MINUS)

USB チャンネル自身の音声を差し引いたミックス音を、パソコンに 戻す機能です。

パソコンで WEB 会話などをするときに、ハウリングを抑えることが できます。

※ MIX MINUS 機能は、AUDIO MODE (P.31) がマルチトラック (MTK-RECORD、MTK-STREAM)の場合に有効です。 また、USB MONITOR 出力 (P.28) としてパソコンに送られます。

パラメーター	説明
MIX MINUS	MIX MINUS の機能をオン/オフします。

その他

パラメーター	説明		
REVERB SEND	USB チャンネルからリバーブに送る信号のレベル を設定します。		
DYNAMICS REMAIN	「ON」にすると、EFFECTS ボタンを OFF にした ときでも、ENHANCE / COMP / NS は ON の状態が維持されます。		
	DYNAMICS REMAIN が有効な場合		
	EFFECTS ボタンが OFF のときは 「青点灯」になります。		

BLUETOOTH® チャンネル

Bluetooth 接続したモバイル機器(スマートフォンなど)からのオーディオ信号を扱うチャンネルです。

1. トップ・パネルの []] ボタンを押します。



5. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示され ている「GCS-5 Audio」をタップします。

接続中は、「CONNECTING」→「PAIRING」→「WAITING」と 表示が変わり、接続が完了すると「接続した機器の名称」が表示さ れます。

ペアリングが成功すると、モバイル機器の「ペアリングされた機器」 リストに「GCS-5 Audio」が追加されます。

ー定時間ペアリングを実行しないと表示が「DISCONNECTED」に 変わり、ペアリング待機状態が解除されます。

ペアリング済みモバイル機器の接続

1. < PAIR > にタッチします。

2. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



XE

上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「GCS-5 Audio」をタッ プしてください。

入力ゲインの設定

1. GAIN で、入力ゲインを調節します。



INPUT

1. < INPUT > にタッチします。



モバイル機器の登録(ペアリング)

操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル 機器の取扱説明書をご覧ください。

 ペアリングしたいモバイル機器を、GCS-5 周辺に置き ます。

3. < PAIR > にタッチします。



4. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



EQ

1. < EQ >にタッチします。

2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。



3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

EFFECTS

BLUETOOTH チャンネル専用のエフェクトを使うことができます。

1. < EFFECTS > にタッチします。

エフェクトのエディット画面が表示されます。

2. EFFECTS ボタンを「ON」(緑点灯)します。



3. パラメーターを設定します。

- エディット操作については、「エフェクトのエディット」(P.17)をご覧ください。
- パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

XE

エディットした設定は、そのまま保存されます。

GENERAL

- **1.** < GENERAL >にタッチします。
- 2. パラメーターを設定します。



ダッキング(DUCK)

演奏や会話の音声(チャンネル 1 ~ INSTRUMENT チャンネル)が 鳴るときに、他の音を絞って演奏や会話の音声を目立たせる機能で す。

ナレーターの話やチャットの間、音楽 (BGM) の音量を自動的に下 げることができます。

パラメーター	説明
DUCK	ダッキングの機能をオン/オフします。
DUCK DEPTH	DUCK がかかったときの減衰量を設定します。
DUCK DECAY	DUCK がかかってから元の音量に戻るまでの長さを設定します。

ハウリングの抑制(MIX MINUS)

BLUETOOTH チャンネル自身の音声を差し引いたミックス音を、 Bluetooth 機器に戻す機能です。 スマートフォンで会話などをするときに、ハウリングを抑えることが できます。

パラメーター	説明
MIX MINUS	MIX MINUS の機能をオン/オフします。

その他

パラメーター	説明		
REVERB SEND	BLUETOOTH チャンネルからリバーブに送る信号のレベルを設定します。		
DYNAMICS	「ON」にすると、EFFECTS ボタンを OFF にしたときでも、ENHANCE / COMP / NS はON の状態が維持されます。		
REMAIN	DYNAMICS REMAIN が有効な場合		
	EFFECTS ボタンが OFF のときは 「青点灯」になります。		
BLUETOOTH SW	Bluetooth 機能をオン/オフします。		

チャンネル設定

SOUND PAD チャンネル

サウンド・パッドに割り当てた音声を扱うチャンネルです。

※ サウンド・パッドの機能は、専用アプリを接続しているときに使用できます。

1. ホーム画面で、<=> (MENU ボタン) にタッチします。

MENU 画面が表示されます。



2. <CHANNEL>→ <SOUND PAD>にタッチします。

SOUND PAD 画面が表示されます。

S	OUND PAD	\bigcirc	
FX TYPE	DELAY		
TYPE	•	SINGLE	E
TIME	-•	• 400ms	
EFFECT LEVEL	•	60	

4. エフェクトのパラメーターを調節します。



※パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。



エディットした設定は、そのまま保存されます。

GENERAL

Ø

- 1. < GENERAL >にタッチします。
- 2. パラメーターを設定します。

EFFECTS

SOUND PAD チャンネル専用のエフェクトを使うことができます。

1. < EFFECTS >にタッチします。

2. SOUND PAD ボタンを「ON」(緑点灯)します。



3. FX TYPE で、使用するエフェクトを選びます。



ダッキング(DUCK)

演奏や会話の音声(チャンネル1~INSTRUMENT チャンネル)が 鳴るときに、他の音を絞って演奏や会話の音声を目立たせる機能で す。

DUCK DEPTH

REVERB SEND

¢

DUCK DECAY

SOUND PAD

-10dB

0

20

A

ナレーターの話やチャットの間、音楽(BGM)の音量を自動的に下 げることができます。

パラメーター	説明
DUCK	ダッキングの機能をオン/オフします。
DUCK DEPTH	DUCK がかかったときの減衰量を設定します。
DUCK DECAY	DUCK がかかってから元の音量に戻るまでの長さを設定します。

その他

パラメーター	説明	
	SOUND PAD チャンネルからリバーブに送る	
KEVERB SEND	信号のレベルを設定します。	

エフェクトのエディット

チャンネル 1 ~ INSTRUMENT チャンネルでは「エフェクト・パッチ」、USB ~ BLUETOOTH チャンネルでは各チャンネル専用のエフェクトをエディットすることができます。

1. < EFFECTS >にタッチします。

- (チャンネル1~INSTRUMENT チャンネルの場合) PATCHで、エディットしたいエフェクト・パッチを選びます。
- ※ エフェクトのカテゴリーが「CONSOLE」のときは、CONSOLEの エフェクトをエディットします。

3. < >>にタッチします。



エフェクト・パッチのエディット画面、または EFFECT EDIT 画面が 表示されます。





4. エディットしたいエフェクトのアイコンにタッチします。

アイコンにタッチするたびに、エフェクトのオン/オフが切り替わりま す。



※ SW で、ON / OFF を切り替えるこ ともできます。

現在選ばれているエフェクトのパラメーターが表示されます。



5. パラメーターの値を変更します。

エディットしたエフェクト・パッチの設定を保存するときは、パッチ・ライトの操作をします。

※ CONSOLE のエフェクトと USB ~ BLUETOOTH チャンネルの専用 エフェクトの場合、ライト操作は必要ありません。変更した設定がそ のまま保存されます。

ホーム画面で、チャンネル 1 ~ SOUND PAD チャンネルのアイコンにタッチするとウインドウが開きます。



エフェクトの接続順を変更する

エフェクトのカテゴリーが「GUITAR」のエフェクト・パッチをエディット する場合は、エフェクトの接続順を変更することができます。

1. 順番を変えたいエフェクトのアイコンにタッチして、 好みの場所にドラッグします。

例: X-OD を、PDL とFX1 の間に配置



[+] のアイコンが表示されたら、ドラッグしたアイコンから指を離します。



X-OD が、PDLとFX1の間に配置されました。

エフェクト・パッチを保存する(パッチ・ライト)

エディットしたエフェクト・パッチを、ユーザー・パッチとして保存します。

エフェクト・パッチのエディット画面で、 (ライト・ボタン)にタッチします。



2. < NAME >にタッチして、パッチ・ネームを入力します。

• パッチ・ネームを変更しないときは、この手順は不要です。

PATCH NAME: PREMIUM DRIVE	
qwertyu i o	
asdfghjk	
z x c v b n m	DEL
CANCEL 123 < SPACE >	ENTER

パッチ・ネームが決まったら、< ENTER >にタッチします。

4. TO で、保存先のユーザー・パッチを選びます。

• 現在選んでいるユーザー・パッチに上書き保存する場合は、この手 順は不要です。

5. < WRITE > にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。



※ 中止するときは、< NO >にタッチします。

6. < YES >にタッチします。

ユーザー・パッチが保存されます。

※「EXECUTING...」と表示されている間は、絶対に電源を切らないで ください。 パッチ・ライトの機能一覧

PATCH WRITE 画面では、以下の機能を使うことができます。 画面にタッチして、機能を選んでください。



機能	説明	
WRITE	ユーザー・パッチを保存します。	
EXCHANGE	ユーザー・パッチ同士を入れ替えて、ユーザー・パッ チの並びを変えることができます。	
EXCHANGE	< EXCH > → < YES >にタッチして、入れ替えを実 行します。	
	指定したユーザー・パッチの位置に、ユーザー・パッ チを挿入(インサート)します。	
INSERT	たとえば、U001をU010にインサートさせると、メ モリー U010以降は1つ番号が後ろにシフトします。 (U010はU011になります)。	
	< INSERT > → < YES >にタッチして、インサートを 実行します。	
	エフェクト・パッチの各エフェクトを、標準的なセッティ ングにすること(初期化)ができます。	
INITIALIZE	最初からエフェクト・パッチを作りたいときに便利で す。	
	<init>→<yes>にタッチして、初期化を実行します。</yes></init>	

※「EXECUTING...」と表示されている間は、絶対に電源を切らないで ください。

チューナーを使う

GCS-5に搭載されたチューナーを使ってギターのチューニングをしたり、マイクの音声や楽器のピッチを確認したりすることができます。

1. ホーム画面で、<図> (TUNER ボタン) にタッチします。

TUNER 画面が表示されます。



メーターの表示スタイルを切り替える

TUNER 画面で左または右にスワイプすると、メーターの表示スタ イルを切り替えることができます。

セント表示

入力音が低いほど左が、高いほど右が点灯します。



ストリーム表示

入力音のピッチのズレを、左右への光の流れ具合で表示します。 入力音が低いときは左に流れ、高いときは右に流れます。 ピッチのズレが小さくなるほど、光の流れる速さが遅くなり、ピッチ が合うと光の流れが止まります。



INPUT の< CH1 >~< INST >にタッチして、チュー ニング対象のチャンネルを選びます。

複数のチャンネルを選ぶこともできます。



3. 楽器を単音で鳴らす、または音声を入力します。

鳴らした音に近い音名/弦番号が表示されます。正確なピッチとの ズレが、メーターとチューニング・ガイドで表示されます。



ピッチが高い





4. 手順3を繰り返して、楽器または音声をチューニング をします。

目的の音名/弦番号が表示され、チューニング・ガイドが両方点灯し、 メーターのピッチが合うようにチューニングします。

基準ピッチの設定

1. <-><+>にタッチして、基準ピッチを設定します。



設定値	
435 ~ 445Hz	

ミュートの設定

チューナー使用時に、指定したチャンネルの出力をミュートすることができます。

MUTE の< CH1 >~< INST >にタッチして、出力を ミュートするチャンネルを選びます。

複数のチャンネルを選ぶこともできます。



サウンド・パッドを使う

注意

サウンド・パッドは、専用アプリを接続しているときに表示されます。 専用アプリが接続されていないときは、「GIGCASTER APP NOT FOUND」と表示されます。

各パッドに割り当てられている音声を再生します。BGM /ジングル/効果音などを、最適なタイミングで鳴らすことができます。

- サウンド・パッドには、64個(8バンク×8)の音声を割り当てることができます。
- 起動時には、バンク1が選ばれます。

音声を再生する

1. [SOUND] ボタンを押します。

ディスプレイに、サウンド・パッド1~8が表示されます。



サウンド・パッド<1>~<8>にタッチして、音声を 再生します。



バンク(1 ~ 8)の切り替え

3. < **▲**>< **▲**> にタッチします。



サウンド・パッドの設定をエディットする

専用アプリを接続すると、以下のことができるようになります。

- 各パッドに割り当てる音声を変更することができます。
- 各パッドに、音声の再生方法(ワンショット/ループ)や機能を 設定することができます。

専用アプリの詳細については、ボスのホームページをご覧ください。 https://www.boss.info/jp/support/

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

[SOUND] ボタンが点灯しているときにホーム画面で左または右に スワイプすると、サウンド・パッドが表示されます。 各パッドに割り当てられている音声を確認することができます。



[SOUND]

エフェクト・パッドを使う

各パッドにエフェクトのオン/オフやいろいろな機能を割り当て、パッドの操作でコントロールすることができます。

- エフェクト・パッドには、64 個 (8 バンク×8)のエフェクト設定を割り当てることができます。
- 1 つのエフェクト設定に 4 つのグループ (A \sim D) があり、各グループに機能を割り当てて、同時にコントロールすることができます。
- 起動時には、バンク1が選ばれます。

エフェクト設定を選ぶ

1. [EFFECTS] ボタンを押します。

ディスプレイに、エフェクト・パッド1~8が表示されます。



 エフェクト・パッド<1>~<8>にタッチして、エフェ クトをオンにします。



バンク(1 ~ 8)の切り替え

3. < ▲ >< ▲ > にタッチします。



エフェクト・パッドの設定をエディットする

64 (8 バンク×8) のパッドの設定をエディットすることができます。

ホーム画面で、<
 <i>> (MENU ボタン) にタッチします。
 MENU 画面が表示されます。

	MENU	
IoI OLIPU GHANNEL ■1) OUTPUT	PAD	FOOT SW SETUP

2. < PAD > → < EFFECTS >にタッチします。

EFFECTS PAD 画面が表示されます。

	EFFECT	SPAD		
1 Parcendec 5 Parcendec	2 CHI PATCHINC 6 INST PATCHINC BAN	3 PATCHDEC 7 USB EFFECT ON/OFF	4 PATCHINC 8 BLUETOOTH EFFECT ON/OFF	

- 3. < ■>< ■>にタッチして、バンクを選びます。
- 4. 設定をエディットしたいパッドにタッチします。



5. < A >~< D >にタッチして、グループを選びます。



6. パラメーターの設定値を変更します。

※ 変更した設定が、そのまま保存されます。

パラメーター	説明		
CATEGORY	カテゴリーを選びます。 カテゴリーによって、選べる機能が変わります。		
FUNCTION	パッドに割り当てる機能を設定します。 使わないときは「OFF」にします。		
	TOGGLE	パッドを押すたびに、MIN の値/MAX の値に切り替わります。 MAX の値のときに、パッドが点灯しま す。	
MODE	MOMENT	パッドを押している間、MAX の値になります。 MAX の値のときに、パッドが点灯します。	
MIN	│ パラメーターの可変範囲の下限値(MIN)と上限値 」(MAX)を設定します。		
MAX	※割り当てた機能によって、設定値が変わります。		
COLOR	パッドの点灯色を設定します。		

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

[EFFECTS] ボタンが点灯しているときにホーム画面で左または右に スワイプすると、エフェクト・パッドが表示されます。 設定をエディットしたいパッドにタッチして、エディット画面を表示さ せることができます。



フットスイッチ/エクスプレッション・ペダルを使う

別売のフットスイッチ(FS-5U / FS-6 / FS-7)やエクスプレッション・ペダル(FV-500H / FV-500L / EV-30 / Roland EV-5)、フット・コント ローラー(GA-FC)を接続して、さまざまな機能をコントロールすることができます。

フットスイッチの接続

下図を参考にフットスイッチを接続し、モード/ポラリティー・スイッチを設定してください。



GA-FC の接続

GA-FC に接続したエクスプレッション・ペダルにも、機能を割り当ててコントロールすることができます。 ※ 必ずステレオ・ケーブルを使用して、FOOT SW 端子に接続してください。



フット・コントローラーを指定する

FOOT SW 端子に接続したフット・コントローラー(フットスイッチ、エ クスプレッション・ペダル、GA-FC)を指定します。

1. ホーム画面で、<=> (MENU ボタン) にタッチします。

MENU 画面が表示されます。



2. < FOOT SW > → < GENERAL >にタッチします。



3. FOOT SW で、フット・コントローラーを指定します。



設定値	説明
CTL/EXP	フットスイッチまたはエクスプレッション・ペダルを 接続したときに選びます。
GA-FC	GA-FC を接続したときに選びます。

フットスイッチ/エクスプレッション・ペ ダルの設定

フットスイッチ (CTL1、2) とエクスプレッション・ペダル (EXP) のそ れぞれに 4 つのグループ (A ~ D) があり、各グループに機能を割り 当てて、同時にコントロールすることができます。

1.「フット・コントローラーを指定する」の操作で、 「CTL/EXP」を選びます。

2. < CTL/EXP > にタッチします。



 < CTL1 >~< EXP >にタッチして、機能を設定する フットスイッチまたはエクスプレッション・ペダルを選びます。

設定画面が表示されます。

		CTL1	
A	CATEGORY	СН1	
B	FUNCTION	OFF	
C	MODE	TOGGLE MOMENT	
D	MIN	•	0

4. < A >~< D >にタッチして、グループを選びます。



5. パラメーターの設定値を変更します。

※ 変更した設定が、そのまま保存されます。

CTL1、2

機能	説明		
CATEGORY	カテゴリーを選びます。 カテゴリーによって、選べる機能が変わります。		
FUNCTION	フットスイッチに割り当てる機能を設定します。 使わないときは「OFF」にします。		
MODE	TOGGLE	フットスイッチを押すたびに、MIN の値 / MAX の値に切り替わります。	
	MOMENT	フットスイッチを押している間、MAX の値になります。	
MIN	パラメーターの可変範囲の下限値(MIN)と上限値		
MAX	(MAX) を設定します。 ※ 割り当てた機能によって、設定値が変わります。		

EXP

機能	説明	
CATEGORY	カテゴリーを選びます。	
CATLOOKI	カテゴリーによって、選べる機能が変わります。	
FUNCTION	エクスプレッション・ペダルに割り当てる機能を設定し ます。 使わないときは「OFF」にします。	
MIN	パラメーターの可変範囲の下限値(MIN)と上限値	
	(MAX)を設定します。 ペダルを戻したときが MIN、ペダルを踏み込んだと	
MAX	きが MAX になります。 ※ 割り当てた機能によって、設定値が変わります。	

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

パッド・リンクの設定

「パッド・リンク」を使うと、パッド1~8 に割り当てた機能を、GA-FC の操作でコントロールすることができます。 サウンド・パッド/エフェクト・パッドのどちらもコントロールできます。

注意

パッド・リンクを使う場合、GA-FCの各スイッチ(PEDAL1~6)に割り当てた機能の設定は無効になり、パッド1~8に割り当てた機能のみをコントロールします。

GA-FC に接続したエクスプレッション・ペダル (EXP1、2) に割り当て た機能は有効です。

1. 「フット・コントローラーを指定する」 (P.24) の操 作で、「GA-FC」を選びます。

「PAD LINK」が表示されます。

2. PAD LINK で、ON / OFF を切り替えます。



設定値	説明	
ON	GA-FC で、サウンド・パッドまたはエフェクト・パッド1~8に割り当てた機能をコントロールします。	
OFF	GA-FC の各スイッチ/エクスプレッション・ペダ ルに割り当てた機能をコントロールします。	

GA-FC とパッドの対応



GA-FC の設定

スイッチ(PEDAL1 ~ 6)とエクスプレッション・ペダル(EXP1、2)のそれぞれに 4 つのグループ(A ~ D)があり、各グループに機能を割り当てて、 同時にコントロールすることができます。

1. 「フット・コントローラーを指定する」 (P.24) の操 作で、「GA-FC」を選びます。

PEDAL1 \sim 6

2. < GA-FC > にタッチします。



 < PEDAL1 >~< EXP2 >にタッチして、機能を設定 するスイッチまたはエクスプレッション・ペダルを選び ます。

設定画面が表示されます。

		PEDAL1	đ
Α	CATEGORY	СН1	Γ
В	FUNCTION	OFF	
С	MODE	TOGGLE MOMENT	
D	MIN	•	

4. < A >~< D >にタッチして、グループを選びます。



5. パラメーターの設定値を変更します。

※ 変更した設定が、そのまま保存されます。

機能	説明	
CATEGORY	カテゴリーを	選びます。
	カテゴリーによって、選べる機能が変わります。	
FUNCTION	スイッチに割り当てる機能を設定します。	
	使わないときは「OFF」にします。	
MODE	TOGGLE	スイッチを押すたびに、MIN の値/ MAX の値に切り替わります。
MODE	MOMENT	スイッチを押している間、MAX の値に なります。
MIN	パラメーターの可変範囲の下限値(MIN)と上限値 (MAX)を設定します。	
MAX	※割り当てた機能によって、設定値が変わります。	

EXP1、2

機能	説明
CATEGORY	カテゴリーを選びます。
	カノコリーにようと、選べる彼能が多わりより。
FUNCTION	エクスプレッション・ペダルに割り当てる機能を設定します。
	使わないとさは「OFF」にします。
MIN	パラメーターの可変範囲の下限値(MIN)と上限値 (MAX)を設定します。
MAX	ペダルを戻したときが MIN、ペダルを踏み込んだと きが MAX になります。
	※割り当てた機能によって、設定値が変わります。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。 1. トップ・パネルの [1] ボタンを押します。

OUTPUT 画面が表示されます。



 < MAINOUT >~< GENERAL >にタッチして、設 定項目を選びます。

<USB>にタッチした場合

 < MAIN >~< AUX IN >にタッチして、設定項目を 選びます。

MAIN OUT

MAIN OUT の出力設定をします。

EQ

- 1. < EQ >にタッチします。
- 2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。

LOW 00	1
	\geq
FREQ 500Hz	
GENERAL Q 1	

3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

GENERAL

1. < GENERAL >にタッチします。

2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
LEVEL	信号の出力レベルを設定します。

USB

USB の出力設定をします。

USB MAIN

USBのメイン出力です。MAIN OUT 端子と同じ音が出力されます。

USB MONITOR

USB のモニター出力です。 ヘッドホン 1、2 端子と同じものが出力されます。

会話やチャットのときにチャンネルを指定することで、GCS-5のヘッドホンで聴いている音をパソコンでも聴くことができます。

EQ

- 1. < EQ >にタッチします。
- 2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。



3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

EQ

1. < EQ >にタッチします。

2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。



3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

GENERAL

1. < GENERAL >にタッチします。

2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
LEVEL	信号の出力レベルを設定します。
MONO MIX	USB から出力する信号を、モノにします。

GENERAL

- **1.** < GENERAL >にタッチします。
- 2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
LEVEL	信号の出力レベルを設定します。
MONO MIX	USB から出力する信号を、モノにします。

USB AUX IN

OUTPUT フェーダーの直前でミックスされる USB 入力です。 パソコンでの編集作業などで、エフェクトを通さない音を確認したい場 合に利用することができます。

1. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
LEVEL	信号の入力レベルを設定します。

トークバックの設定(TALKBACK)

トークバックを使うための設定をします。

1. TALKBACK ボタンを「ON」(緑点灯) にします。



※ ホーム画面の< <>>> (トークバック・ボタン) にタッチして、トークバックを「ON」(緑点灯) にすることができます。

2. パラメーターを設定します。

トークバックするチャンネルの選択(CHANNEL)

トークバックする音声のチャンネルを選びます。 複数のチャンネルを選ぶことができます。

パラメーター	設定値
CHANNEL	CH1 \sim 2、INST、USB、BLUETOOTH

トークバック専用の入力ソース選択

トークバック専用の入力ソースを設定します。

チャンネルの入力ソースに内蔵マイクやヘッドセットのマイクを設定 していない場合でも、トークバック専用でマイクやヘッドセットのマイ クを使用することができます。

パラメーター	説明
AUX IN	トークバック専用の入力ソース (ヘッドセットのマイ ク) を選びます。 使わないときは [OFF] にします。
AUX GAIN AUX IN 使用時の入力ゲインを調節します。	

その他

パラメーター	説明
THRU OUT	トークバックに使わないチャンネルの音を MAIN OUT に出力するときの出力レベルを設定します。 トークバックに使わないチャンネルを使って BGM を流したりすることができます。
	「OFF」にすると、トークバック中は MAIN OUT の出力音がすべてミュートされます。
OUTPUT	トークバックする音声の出力先を設定します。

EFFECTS

出力音にかけるエフェクトの設定をします。

COMP

- 1. < COMP > にタッチします。
- 2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
COMP	コンプレッサーの深さを設定します。
COMP	「OFF」にすると、コンプレッサーはかかりません。
TONE	エフェクト音の音質を調節します。
NATURAL	値が大きいほど、コンプレッサーのかかりが自然 な感じになります。

REVERB

1. < REVERB >にタッチします。

2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明	
TIME	リバーブ音の長さ(時間)を調節します。	
TONE	リバーブ音の音質を調節します。	
LEVEL	リバーブ音の音量を調節します。	

ホーム画面で、OUTPUT チャンネルのアイコンにタッチするとウイ ンドウが開きます。

<こ>>にタッチすると、EFFECTS 画面を表示させることができます。



GENERAL

1. < GENERAL >にタッチします。

2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明	
KEY	エフェクト・パッチ(チャンネル 1 ~ INSTRUMENT チャンネル)、専用エフェクト(USB	
BPM	~ BLUETOOTH チャンネル)に共通の KEY と BPM を設定します。	
KEY PREF	KEYとBPMの設定を、GENERALの設定にする	
BPM PRF	パッチの設定にする (CH1) かを選びます。	

GENERAL

1. パラメーターを設定します。

	GENERAL		
STREAM DELAY	9	Oms	
DELAYED OUT		MAIN+USB	
FADER		MAIN+USB	
EQ	•	COMMON	

パラメーター	説明	
STREAM DELAY	映像と音声のズレを調整するときに使用します。	
DELAYED OUT	STREAM DELAY で調整された音声の出力先を 設定します。	
FADER	OUTPUT フェーダーの音量調節が有効になる出 力を設定します。	
EQ	MAIN OUT とヘッドホン 1 ~ 2 端子の EQ を共 通で設定するか、個別に設定するかを決めます。	
MONITOR	ヘッドホン 1 ~ 2 端子と USB MONITOR に出力 される音に対し、各チャンネル・フェーダーの音量 調節が有効か無効かを設定します。	
HEDSET MIX MINUS	ヘッドセット・マイクからの入力音を、ヘッドホン 1 端子に戻す(ON)か戻さない(OFF)かを設定 します。	

MENU 画面では、いろいろな設定が「メニュー」として表示されます。目的の設定画面が表示されるまで、メニュー項目にタッチして画面を切り替えます。

1. ホーム画面で、<=> (MENU ボタン) にタッチします。

MENU 画面が表示されます。



- < CHANNEL >~< SETUP >にタッチして、メニュー 項目を選びます。
- 3. 目的の設定画面が表示されるまで、メニュー項目に タッチして画面を切り替えます。
- 4. パラメーターを設定します。

CHANNEL / OUTPUT / PAD / FOOT SW

項目	説明
CHANNEL	各入力チャンネルの設定をします。
	内容は、「チャンネル設定」(P.8)と同じです。
	出力に関する設定をします。
OUTPUT	内容は、「出力の設定」(P.27)と同じです。
PAD	エフェクト・パッドの設定をします。
	内容は、「エフェクト・パッドの設定をエディットする」 (P.21) と同じです。
FOOT SW	FOOT SW 端子に接続したフットスイッチ/エクスプ レッション・ペダル/ GA-FC の機能を設定します。
	内容は、「フットスイッチ/エクスプレッション・ペダル を使う」(P.23) と同じです。

SETUP

GCS-5のシステム全体に関する設定をします。

DISPLAY

パラメーター	説明
BRIGHTNESS	
LCD	ディスプレイの明るさを調節します。
LED ON	ボタンがオンのときの明るさを調節します。
LED OFF	ボタンがオフのときの明るさを調節します。
EDIT SW	チャンネル・エディット・ボタンと OUTPUT エディット・ ボタンの点灯方法を設定します。
CLIP LEVEL	ホーム画面に表示されるレベル・メーターの、クリッ プ表示のレベルを設定します。

USB

パラメーター	説明	
	オーディオの動作モードを設定します。	
	2 MIX	ステレオ入出力で動作します。
		各 OS の標準ドライバーで動作します。
		マルチトラック入出力で動作します。
	MTK- RECORD	専用ドライバーで動作します。
		サンプリング・レートを切り替えて使う ことができる録音用モードです。
		DAW などで録音するときに便利です。
	MTK- STREAM	マルチトラック入出力で動作します。
		専用ドライバーで動作します。
		Mac で使用するときに、各チャンネル を個別に選べるモードです。
		会話アプリなどで使うときに便利です。
MULTITRACK	マルチトラックで出力するときに、どの信号を出力 するかを設定します。	
MIDI CH	MIDI 情報の送受信チャンネルを設定します。	

GENERAL

パラメーター	説明	
VERSION	システム・プログラムのバージョンを表示します。	
DATE & TIME	日付と時刻を設定します。	
BACKUP	GCS-5 のデータをパソコンにバックアップします。	
FACTORY RESET	工場出荷時の設定に戻します。	

GCS-5 のデータをバックアップする

GCS-5 のデータを、パソコンにバックアップします。

1. MENU 画面で、< SETUP > → < GENERAL >にタッ チします。

GENERAL 画面が表示されます。

	GENERAL	
VERSION		V1.00
DATE & TIME	EDIT	2023/01/11 07:09:55
BACKUP	EXECUTE	
FACTORY RESET	EXECUTE	

2. BACKUP の< EXECUTE >にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。



3. < YES >にタッチします。

「CONNECTING...」と表示されます。



4. USB ケーブルで、GCS-5 の USB 端子とパソコンの USB 端子を接続します。

パソコンとの間で接続が完了すると「CONNECTED」とメッセージ が表示されます。

5. GCS-5ドライブを開きます。

Windows PC 内の「GCS-5」を開きます。

macOS

デスクトップの「GCS-5」アイコンを開きます。

6. データのバックアップ/復元をします。

バックアップ

GCS-5ドライブの「GCS-5_BAK.BIN」ファイルをそのままパソコ ンにコピーします。

復元

※ この操作をすると、現在 GCS-5 に保存されているメモリーは消えて しまいます。最初にバックアップをしてください。

GCS-5ドライブの「GCS-5_BAK.BIN」ファイルを削除してから、 パソコンにバックアップしてある「GCS-5_BAK.BIN」ファイルを GCS-5ドライブにコピーします。

注意

復元するとき以外は、GCS-5ドライブ内のフォルダーは削除しないでください。

7. < DISCONNECT >にタッチして、GCS-5 ドライブの 取り出しをします。

「DISCONNECTING...」と表示されます。

	GENER	AL	
VERSI	ON	V1.00	
DA.	DISCONNECT	'ING 1/11 :55	
в			
FACTORY	RESET	E	

※パソコン側の操作で、GCS-5ドライブの取り出しをすることもできます。

Windows

画面右下の [▲] → []] アイコンから [GCS-5] をクリックします。

macOS

[GCS-5] アイコンをゴミ箱 (「取り出し」 アイコン) にドラッグします。

専用アプリを使って、GCS-5のデータをバックアップすることができます。

専用アプリの詳細については、ボスのホームページをご覧ください。 https://www.boss.info/jp/support/

工場出荷時の設定に戻す(ファクトリー・リセット)

すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができますが、工場出荷時の設定に戻したい項目を指定することもできます。 ※「ファクトリー・リセット」を実行すると、お客様が設定した設定は失われます。必要なデータは、パソコンにバックアップしてください。

1. MENU 画面で、< SETUP > → < GENERAL >にタッ

チします。

GENERAL 画面が表示されます。

	GENERAL	
VERSION		V1.00
DATE & TIME	EDIT	2023/01/11 07:09:55
BACKUP	EXECUTE	
FACTORY RESET	EXECUTE	

4. < EXECUTE >にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

※ 中止するときは、<NO>にタッチします。

5. < YES >にタッチします。

ファクトリー・リセットが実行されます。

※「EXECUTING...」と表示されている間は絶対に電源を切らないでく ださい。

2. FACTORY RESET の< EXECUTE >にタッチします。

FACTORY RESET 画面が表示されます。



3. 戻したい設定を選びます。

FACTORY RESET 画面に切り替えた直後は、すべての設定が選ばれています。

パラメーター	説明		
	チャンネル1、2の設定		
	INSTRUMENT ~ SOUND PAD チャンネルの設定		
	OUTPUT の設定		
	サウンド・パッドの設定		
IVIIAEK	エフェクト・パッドの設定		
	フットスイッチの設定		
	エクスプレッション・ペダルの設定		
	GA-FC の設定		
EFFECT PATCH			
GUITAR	EFFECTS CATEGORY が「GUITAR」のエフェ クト・パッチ		
SING	EFFECTS CATEGORY が「SING」のエフェクト・ パッチ		
TALK	EFFECTS CATEGORY が「TALK」のエフェクト・ パッチ		

エラー・メッセージー覧

メッセージ	意味	対処
INSUFFICIENT USB BUS POWER. CHANGE THE USB PORT OR USE PSD ADAPTOR.	USB 端子への給電量が不足しています。	市販の USB AC アダプター(5V … / 3A 以上)を使って 給電してください。
SETUP DATE & TIME?	無通電期間が経過して本体内の時計がリセットされた ときに表示されます。	<yes>にタッチしてから、日付と時刻の設定(P.5)を してください。</yes>
GIGCASTER APP NOT FOUND	専用アプリが接続されていません。	-
DATA DAMAGED	データが壊れています。	ファクトリー・リセット (P.33) で、GCS-5 を工場出荷時
SYSTEM ERROR OCCURRED PLEASE REBOOT	原因不明のエラーが発生しました。	の状態に戻してください。 ファクトリー・リセットを実行しても問題が解決しないときは、 お買い上げ店、または当社サポート窓口にご連絡ください。

主な仕様

サンプル・レート	48kHz	
AD 変換	24 +***	
 DA 変換	32 ۲/00	
	32 ビット 浮動 小数 占	
USB オーディオ		
	40(112、52 ビット 入力数: 16ch	
	出力数: 12ch	
Bluetooth	A2DP、HFP	
エフェクト・パッチ	GUITAR: 200 (ユーザー) + 100 (プリセット)	
	SING: 200 (ユーザー) + 30 (プリセット)	
	TALK: 200 (ユーザー) + 30 (プリセット)	
	GUITAR: 1 チャンネル	
	(DISTORTION、PREAMP、EQ、NS、PEDAL FX、FX1、FX2、FX3、DELAY/REVERB)	
	SING: 2 チャンネル	
同時使田エフェクト数	(COMP、ENHANCE、DESS、EQ、NS、PITCH CORRECT、HARMONY、FX1、FX2、FX3、	
同時に用土ノ土ノー数		
	TALK. 3 FRJAN (COMP. ENHANCE, DESS, EQ. INS. FXT. FXZ)	
	CONSOLE: 5チャンネル (COMP、ENHANCE、DESS、NS、FX)	
	OUTPUT: COMP, REVERB	
規定入力レベル(可変)	GUITAR INPUT: -10 dBu	
入力インピーダンス		
	INST INPUT L, R: $100k \Omega$	
規定出力レベル	MAIN OUT L、R:-10dBu	
	MAIN OUT L、R:1k Ω	
出力インヒータンス	PHONES 1、2: 47 Ω	
推奨負荷インピーダンス	MAIN OUT L、R:10k Ω以上	
ディスプレイ	カラー・グラフィック LCD(480 × 272 ドット)タッチ・スクリーン付	
	チャンネル・エディット・ボタン(CH1 \sim 2、INSTRUMENT、USB、BLUETOOTH)	
コントロール	OUTPUT エディット・ボタン	
	ミュート・ボタン(CH1 ~ 2、INSTRUMENT、USB、BLUETOOTH)	
	$\pm -9 - \cdot \pi 9 \mathcal{I}$ (CH1 ~ 2, INSTRUMENT, USB, BLUETOOTH)	
	$\frac{1}{2} \left[\frac{1}{2} \left[\frac{1}{2} \right] + \frac{1}{2} \left[\frac{1}{2} \left[\frac{1}{2} \left[\frac{1}{2} \right] + \frac{1}{2} \left[$	
	$OUTPUT \neg \tau - \vec{\nabla} - \vec{\nabla}$	
	ヘッドホン 1、2 つまみ	
	マイク 1、2 端子: XLR タイプ、バランス、ファンタム電源: DC 48V、10mA Max	
接続端子	インストL、R 端子: 標準タイプ	
	MAIN OUT L、R 端子: 標準タイプ	
	ヘッドホン 1 端子: ステレオ・ミニ・タイプ (CTIA)	
	ヘッドホン 2 端子: ステレオ・ミニ・タイプ	
	FOOT SW 端子: TRS 標準タイプ	
	USB 端子: USB Type-C [®]	
	DC IN 端子	

電源	AC アダプター (PSD-100)
	USB バス・パワー
消費電流	1.6A (ファンタム電源オン時)
	1.5A (ファンタム電源オフ時)
外形寸法	177 (幅) × 216 (奥行) × 78 (高さ) mm
質量	0.96 kg
付属品	AC アダプター (PSD-100)
	スタートアップ・ガイド
	「安全上のご注意」チラシ
	保証書
別売品	フットスイッチ: FS-5U
	デュアル・フットスイッチ: FS-6
	エクスプレッション・ペダル: FV-500L / 500H、Roland EV-5
	フット・コントローラー: GA-FC

* 0dBu = 0.775Vrms

※本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。